

令和4年度科学研究費助成事業「新学術領域研究（研究領域提案型）」に係る事後評価結果

領域番号	4904	領域略称名	細胞ダイバース
研究領域名	細胞社会ダイバーシティの統合的解明と制御		
領域代表者名 (所属等)	藤田 直也 (公益財団法人がん研究会・がん化学療法センター・所長)		

(評価結果)

A+ (研究領域の設定目的に照らして、期待以上の成果があった)

(評価結果の所見)

本研究領域は、生体組織を多様で不均一な細胞集団「細胞社会ダイバーシティ」として捉えて、数理的なアプローチを取り入れることで、生体・臓器の構築機構の統合的な解明に取り組んだ。領域代表者のリーダーシップの下、計画研究と公募研究との間で有機的な連携が積極的に行われたことで、呼吸器・消化器・骨髄を中心とした組織の細胞多様性・微小環境を解析する新たな実験的・情報学的手法の開発の進展に加えて、がんをはじめとして多くの医学生物学の重要知見が見出され、ハイインパクトジャーナルでの発表を含めた多くの研究成果が得られた。さらに、本研究領域では、若手研究者の育成に加えて、独立PIとしてステップアップした研究者が多数見受けられ、当該研究分野の我が国での中核を担う人材育成にも大きな貢献を果たしたことも高く評価される。

今後は、細胞社会ダイバーシティの「見える化」とその数理モデル構築を更に進展させることで、生命の共通原理の解明へと発展させるとともに、臨床検体の研究成果を統合することで新たな創薬・治療法の開発へとつながることが期待される。